

消防団消防署合同訓練

令和5年11月12日（日）に上島町消防団と上島町消防署の合同訓練を実施しました。今年度は弓削方面隊と林野火災を想定した中継送水訓練を行いました。

訓練では、弓削土生地区の深坂池を水利とし高低差約20m、水利から約900m離れた場所にある農道沿いの雑木林を出火箇所と想定して中継送水を行いました。今回の訓練を通して、改めて消防団との連携強化と技術の共有を図ることができました。今後も上島町の安心・安全を守るために、さまざまな訓練や活動を実施していきます。



▲開式の様子



▲現場指揮所の様子



▲中継送水の様子



▲放水の様子

令和6年 消防出初式のお知らせ

毎年1月に実施していた上島町消防出初式は今年から3月第1日曜日に実施します。

【日時】令和6年3月3日（日）

午前10時 開式

【場所】弓削港荷揚場付近

【内容】表彰式、分列行進、一斉放水

消防団の勇姿をぜひ参観してください。



定光寺観音堂
(弓削土生地区)



祥雲寺観音堂
(岩城西部地区)

令和5年11月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R5累計
火災	0	0	0	0	0	0	1
救急	25	2	9	0	0	36	447

(令和5年11月30日現在)

上島町消防署

☎77-4118

上島町消防本部 消防防災課

☎77-3166

未来のために 地域を守ろう！ 消防団員募集中

令和5年度全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

「文化財防火デー」とは

毎年1月26日は、「文化財防火デー」です。

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に現存する世界最古の木造建造物である法隆寺（奈良県）の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいています。

上島町内に建立されている定光寺観音堂（弓削）と祥雲寺観音堂（岩城）が重要文化財として国より指定されています。上島町消防本部では、文化財防火デーにあわせて消防設備の状況や防火体制の確認などの予防活動を行い、防火意識の高揚を図っています。

今後も先人たちが残した重要な文化財を火災などの災害から守り、未来に残して行くため、重要文化財の火災予防を推進して参ります。



早春より開花を始めるウメは、梅干しや梅酒などの加工品として利用できます。しかし、開花期の気象の影響（寒波）や樹勢のアンバランスによる生理落果が多く、着果量が不安定な果樹です。また、花粉を持たない品種があり、安定生産には受粉樹が必要な場合があります（小梅などの異品種）。今回はウメの栽培について解説します。

1 着花習性

ウメの着花習性は、結果枝型といわれる枝に葉芽と花芽が混在しており、2月頃から先に花が咲き、その

2 剪定と基本樹形

ウメの剪定は12月～1月中旬に行う冬季剪定（落葉後）と8月頃に行う夏季剪定があります。夏季剪定は葉がついているので日当たりの悪い場所がわかりやす

く日光をさえぎる枝を間引き剪定します。冬季剪定は葉が無く枝の骨格が見えやすいので樹形作りと樹勢回復を目的に枝を切除します。樹形は、主枝2～3本を等間隔に斜めに開張させ、1主枝に1～2本の横枝（垂主枝）が重ならない角度に配置し、そこから発生する細枝（側枝）に実をならせます（図1参照）。

3 冬季剪定のポイント

①主枝・垂主枝を決めて先端は樹勢に応じて軽く切り返す。先端枝付近に発生

する同等の太さの枝は先端枝と競合するので除去する。

②主枝や垂主枝の上部から上向きに発生する強勢な徒長枝は基本的には間引き切除する（図1中の破線枝）。結果枝は水平や下向きの枝を利用すると着果しやすい（図2参照）。

③黒くなった古い側枝（結果枝）は元から切除し、新たな結果枝に更新する。また、中庸な立枝は先端を切り返すと短い枝が発生し翌年の結果枝として利用できる。

4 病害虫対策

①黒星病 収穫果実に数ミリのぼんやりした黒い斑点が発生し、外観を損

ねる（写真1）。カビによる病気で幼果期（3月下旬～）からイオウフロアブル500倍（発病前～発病初期）、ベンレート水和剤3000倍（収穫7日前まで1回）、ファンタジスタ顆粒水和剤3000倍（収穫前日まで2回以内）などで防除を行う。②カイガラムシ類（ウメシロカイガラムシ） 12月中にアタックオイル50倍を丁寧に散布する。5月上旬～中旬にコルト顆粒水和剤2000倍（収穫前日まで3回以内）を散布する。

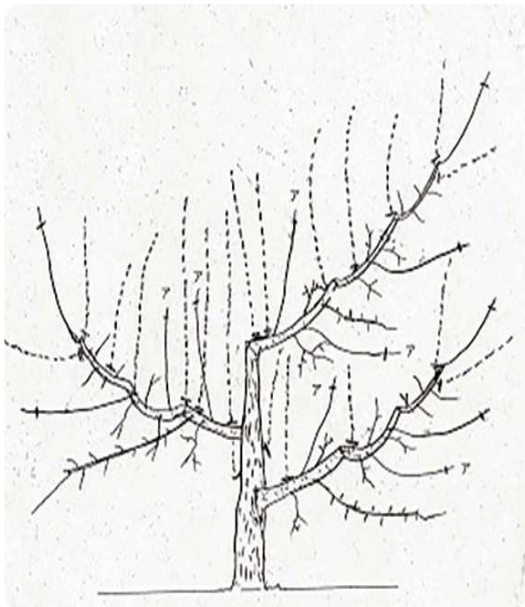


図1 ウメの樹形と剪定例

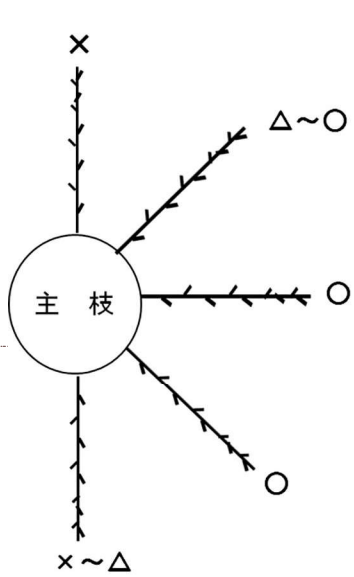


図2 ウメ枝角度の利用



写真1 ウメ黒星病